

# 家庭教育応援ナビ

2025. 4

No. 1

家庭教育とは、家庭で、保護者がこどもに生活習慣やコミュニケーションなど、生きていく上で必要なスキルを身につける手助けをすることです。家庭教育応援ナビでは、家庭教育で必要な情報を発信していきます！



## こどもの自己肯定感と主体性向上のための働きかけ

春、新しいクラス、新しい先生。新年度が始まって約1か月経ちました。新しい環境の中で、こどもたちが新たなことに取り組む機会も多いかと思えます。様々なことを経験することも子どもたちが積極的に挑戦し、自分の可能性を高めていけるようになるために、周囲の大人はどんな働きかけができるでしょうか。

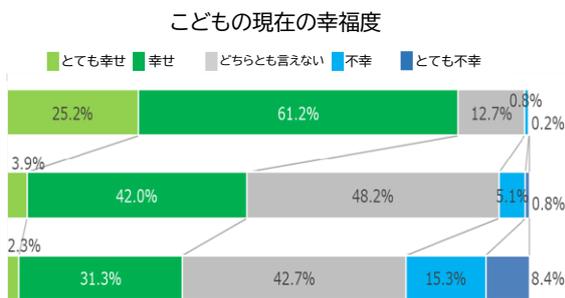
「こども1万人意識調査」において、親に意見を尊重されていると感じるこどものうち、現在の幸福度について「とても幸せ」・「幸せ」と回答した割合は86%に達しています(※図1)。

また、「令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果」によると、「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」児童生徒の多くが「自分にはよいところがあると思う」と回答していることから、2つの項目には関連性があると読み取ることができます(※図2)。

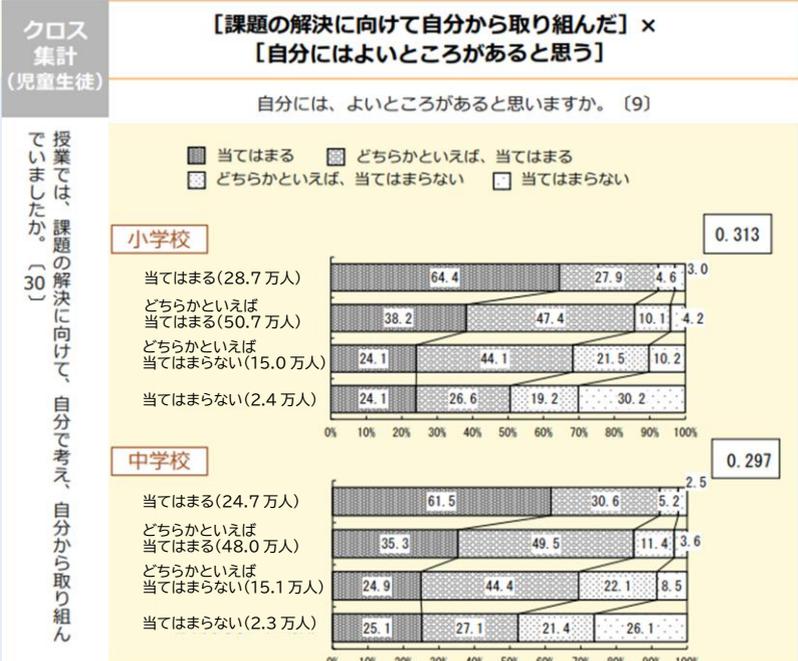
こども家庭庁の「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」にも、こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながるとあります。

このことから、家庭で実践できる自己肯定感と主体性向上の働きかけとして、まずは”こどもの意見を十分に聴く”ということが第一歩と言えます。大人が自分の基準でアドバイスしてしまいたくなるのをぐっとこらえて、まずは「あなたはどう思う?」「あなたは どうしたい?」とこどもの意見を聴いてみることを意識してみませんか。じっくりこどもの意見を聴いてみると、こどもの新たな一面を発見できたり、こどもへの接し方を改めて見つめなおすきっかけにもなるかもしれません。

自分のことを決めるときに親が大事に扱ってくれる・計  
大事に扱ってくれない・計  
どちらとも言えない



※図1:【(公財)日本財団】こども1万人意識調査 報告書より(2023年9月)



※図2:【国立教育政策研究所】令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(概要)より

